

令和元年10月24日

防犯サークルによる防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」を 活用した小学校での地域安全マップ作成活動

香川大学と香川県警察は、地域での防犯に関する調査や取り組みを共同で実施してまいりました。一昨年度から、香川県警察と協力して、防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」の開発を行っております。本アプリは、防犯ウォーキングを行いながら、地域安全マップ作りによる情報共有や危険察知能力、防犯意識の向上を目指すものです。

このたび、高松市立檀紙小学校で防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」を活用した香川大学防犯サークルの学生による授業実践およびフィールドワークを行うことになりました。報道各社におかれましては、子どもの防犯意識の向上ならびに地域の安全・安心なまちづくりの実現をはかるべく県民の皆様方への報道のご協力をお願いいたしたく存じます。

記

日時 10月30日(水) 11:35~12:20 防犯サークルの学生による防犯に関する授業
13:55~14:40 児童と防犯サークルの学生によるフィールドワーク
(アプリを用いた檀紙小学校周辺の安全・危険箇所の点検)
14:50~15:35 アプリを用いた地域安全マップ作りと発表

場所 高松市立檀紙小学校 〒761-8042 香川県高松市御厩町 816

協力学校 高松市立檀紙小学校 4年生

授業実施学生 香川大学防犯サークル(「香川大学防犯パトロール隊」)の学生 21名

担当教員 大久保智生(教育学部)、米谷雄介(創造工学部)

事業協力 株式会社ドコモ CS 四国、日本電気株式会社

内容

現在、県警察と連携して開発している防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」は、防犯ウォーキングを行いながら、地域安全マップ作りによる情報共有や危険察知能力、防犯意識の向上を目指すものです。また、昨年結成された香川大学防犯サークルは香川県警察などと連携して、ホットスポットパトロール(危険箇所の点検。パトロール)や子どもの見守り活動、駐輪場の鍵かけの啓発などの地域での防犯活動を行ってきました、

本アプリは従来の紙ベースでは実現できなかった「即時共有性」と「ゲーム性」を兼ね備えています。即時共有性とは、記録データがユーザー間で即時共有されることです。離れて活動している仲間の様子をアプリの地図上にて確認することができ、離れていても連帯感をもって活動に励むことができます。ゲーム性とは文字通り楽しみながら活動に取り組めることです。差し詰め「陣取りゲーム」のような感覚で、どれだけ旗を立てられたか(危険箇所を見つけられたか)を競争する感覚を生み出し、防犯活動に楽しさを与えます。

今回は、防犯ウォーキングアプリ「歩いてミイマイ」を活用して、地域の防犯活動を行っている香川大学防犯サークルの大学生が小学校で児童を対象に地域安全マップ作りの授業実践を行います。最初の授業では警察と香川大学防犯サークルの大学生が講義を行い、次の授業では各班に一人ずつ大学生がついて、檀紙小学校周辺の安全・危険箇所点検のフィールドワークを行い、最後の授業でも学生が各班について、地域安全マップ作りと発表を行います。

★ ユーザーは安全／危険と感じた箇所についての情報を地図上に登録／地図上から確認できます：



ログイン画面



安全／危険と感じた場所を撮影、タグ、メモ



ユーザーが記録した場所には旗が立つ。



旗をクリックすると記録内容を確認可能

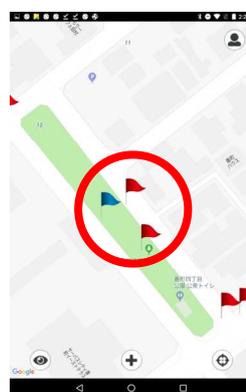
★ ユーザーは他者の記録を確認し、他者の感じ方、観点を知ることができます。自分との比較によるギャップからユーザーは自分に不足している観点に気づくことが可能となり、学習の生起が期待されます：



他者の記録箇所も確認可能、密集箇所は色を変えて黒色に可視化。



ユーザーが安全／危険と感じた場所を撮影、タグ付け、メモ



距離が近い場所でも安全（青）と危険（赤）で評価が異なる場所が存在



観点や感じ方が変われば安全とも危険とも判断できる。このギャップに気づくことがユーザーの危険察知能力、防犯意識の向上につながると考えられる。

お問い合わせ先

香川大学 教育学部 准教授 大久保智生 (研究室にいないことが多いので、メールか携帯をお願いします)

TEL : 087-832-1530 E-mail : tomoo@ed.kagawa-u.ac.jp

香川大学防犯パトロール隊 代表 江郷颯人

E-mail : kagawa.u.patrol@gmail.com

香川県警察本部生活安全部生活安全企画課犯罪抑止対策係

TEL : 087-833-0110 (内線 3011) E-mail : seikatuanzen@pref.kagawa.lg.jp